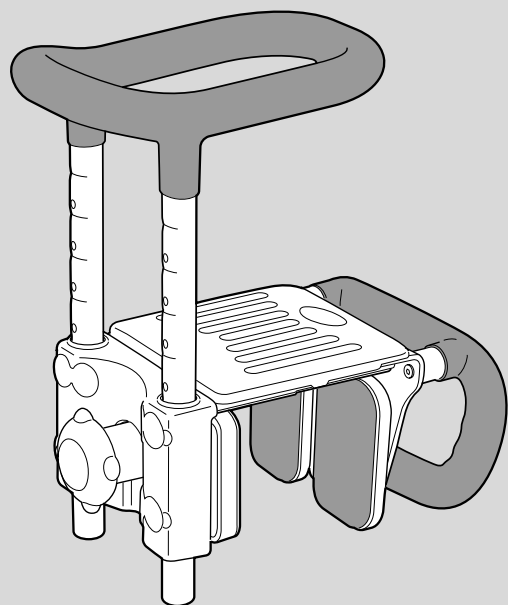




大切にしたい。
自立への気持ちと思いやり。



高さ調節付 浴槽手すりUST-165W 取扱説明書

最大使用者体重：80kg以下

このたびは高さ調節付浴槽手すりUST-165Wをお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

正しくお使いいただくため、ご使用前に必ずお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

もくじ

安全上のご注意	1・2
取り付けの前に	3~5
各部のなまえ	6
特長	6
組み立て・取り付けかた	7~8
使いかた	9・10
お手入れの方法	10

安全上のご注意 必ずお守りください

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、あなたや他人への危害を未然に防止するためのものです。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った使いかたをすると「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。



注意

誤った使いかたをすると「傷害または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■お守りいただきたい内容の種類を、下の絵表示（図記号）で区分し、説明しています。（下記は絵表示の例です）



必ず実行していただく「強制」内容を説明しています。



してはいけない「禁止」内容を説明しています。



警告

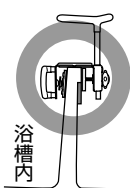
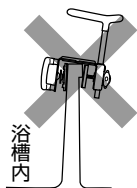
体重が80kgを超える方は使用しないこと
使用中に手すりを外れたり、破損しけがの原因になります。



浴槽手すりは浴槽縁のまたぎ動作、浴槽台・シャワーベンチ等からの立ち座り動作を補助する簡易取り付け手すりです。反動をつけて使用したり、全体重が手すりにかかるような使い方はしないこと
使用中に手すり外れ、転倒しけがの原因になります。

毎回ご使用の前に、グリップを前後左右にゆらしてみ、ガタツキやずれが無く浴槽にしっかり固定されているか確認すること
使用中に手すり外れ、転倒しけがの原因になります。

浴槽の外側に段が付いている場合は、必ず付属の「段差補正板」を使用し、段差が無くなるようにしてから浴槽手すりを取り付けること
段差補正を行わないと手すりが浴槽から外れ、転倒やけがの原因になります。
※「段差補正板」を浴槽の内側には使用しないでください。



浴槽手すりの取り付けは、力の弱い方が行わないこと
使用中に手すり外れ、転倒やけがの原因になります。
※取り付けに不安のある方は、介助者が取り付け・取り外しを行うか、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談してください。



以下の浴槽には取り付けないこと
手すり外れ、転倒しけがの原因になったり、浴槽が変形・破損する原因になります。
① 浴槽壁の厚みが8cm未満、16.5cm（浴槽内側に傾斜があるときは16cm）を超える浴槽
② 浴槽上縁部に段差がある浴槽
③ 浴槽外側の前面エプロンが取り外し可能な浴槽
④ 浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで内部が空洞になっている浴槽



注意



分解や改造をしないこと
手すりが正常にはたらかず、けがの原因になります。



使用者の身体状況によっては、介助者が付き添ったり、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談すること

安全上のご注意

⚠ 注意

高さ調節や取り付け位置などは、お買い上げの販売店やケアマネジャーなど専門家に相談すること

浴槽手すりを取り付ける前に、浴槽の取り付け面に湯あか等の汚れや、水分及び洗剤等が残らないように清掃すること
浴槽が汚れていると、使用中に手すりが外れ転倒の原因になります。

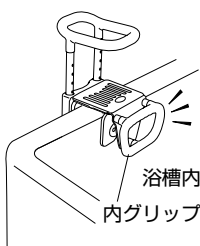
浴槽手すりは、こまめに清掃すること
本体グリップや内グリップの滑り止め部分にカビやぬめりが発生し、滑り止めが効きにくくなる原因になります。

取り付け・取り外しの際には、足の上に落とさないよう取り扱いには十分注意すること
足の上に落とすと負傷・骨折の原因になります。

押圧板（大・小）のゴム板が外れていないか必ず確認すること
手すりが固定できず転倒やけがの原因になります。

⚠ 内グリップが必ず浴槽の内側を向くように取り付けること

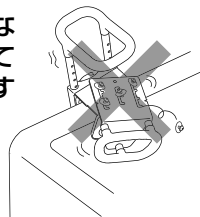
取り付け方向が逆になると、取り付け強度が弱くなり、転倒やけがの原因になります。



内グリップは、付属のねじ3本でしっかり取り付けること
使用中に内グリップが外れ、けがの原因になります

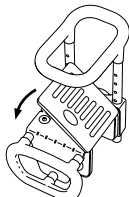
幅調節のねじが緩んでいないか、スライド板がずれていないかを定期的に点検すること

使用中に手すりが外れ、けがの原因になります。



スライド板カバーを必ず取り付けること

使用中にねじが外れたり、ねじが引っかけたりして、けがの原因になります。

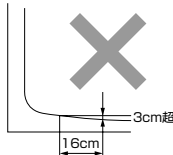


上面裏側及び本体側面のゴムシートがはがれた場合、本体やゴムシートに残った「のり」をきれいに取り除き、市販の強力タイプ両面テープでゴムシートを貼り直してから使用すること
浴槽が傷付く原因になります。

浴槽以外へは取り付けないこと

手すりを浴槽の端に寄せて取り付けるとき、浴槽壁厚の差が3cmを越える場所には取り付けないこと

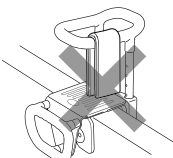
手すりが浴槽から外れ、転倒やけがの原因になります。



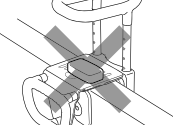
石鹸や洗剤が付着した手で使用しないこと
手が滑り、けがの原因になります。

浴槽へ取り付けた手すりの上に物を乗せたり、物をぶら下げたりしないこと

手すりの上の物が引っかかり、けがの原因になります。



スライド板カバーの上に、石鹸など物を乗せないこと
手すりが石鹸で滑って外れ、けがの原因になります。



浴槽手すりに座ったりしないこと
本体が破損し、けがの原因になります。

子供を遊ばせる等、他の用途で使用しないこと
けがの原因になります。

お湯の温度が45℃以上では使用しないこと
ゴムシートやゴム板がはがれ、けがの原因になります。

火気に近づけないこと
火災や変形の原因になります。

戸外に放置したり、直射日光に当たったりしないこと
劣化及び変形やソリ・ひび割れの原因になります。

お手入れの際は、タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
劣化または破損し、けがの原因になります。

取り付けの前に

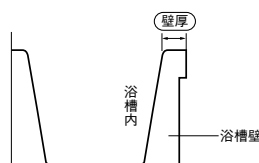
次の浴槽には取り付けできません。

- ①浴槽壁の厚みが8cm未満、16.5cm（浴槽内側に傾斜があるときは16cm）を超える場合
- ②浴槽上縁部に段差のある浴槽
- ③浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで内部が空洞になっている浴槽
- ④浴槽外側の前面エプロンが取り外し可能な場合

①「浴槽手すりUST-165W」を取り付けることができる浴槽壁の厚みは8～16.5cmです。

ここをご確認ください。

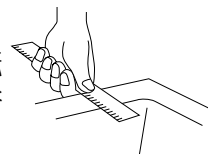
- 浴槽壁の厚みを測ってください。



⚠
注意

浴槽壁の厚みが次の範囲の場所では取り付け
ないこと

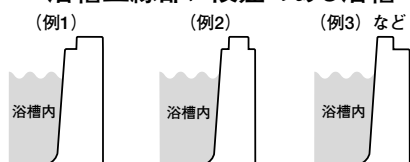
8cm未満、16.5cmを超える
場合手すりが浴槽から外れ、転
倒やけがの原因になったり、浴
槽が破損する原因になります。



②浴槽上縁部に段差のある浴槽には取り付けできません。

ここをご確認ください。

浴槽上縁部に段差のある浴槽

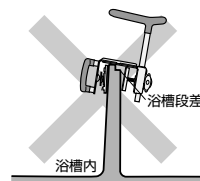


※浴槽壁へのはさみ込み面積が少なくなり、浴槽から
はずれる可能性があるので取り付けないでください。

⚠
注意

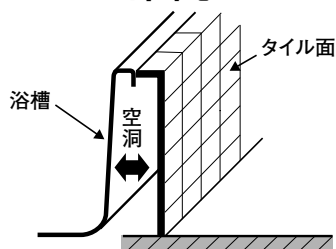
浴槽上縁部に段差のある浴槽には取り付けない
こと

浴槽壁へのはさみ込み面積が
少なくなり、手すりが浴槽か
ら外れ、転倒やけがの原因に
なったり、浴槽が破損する原
因になります。



③浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで内部が空洞になっている浴槽 には取り付けできません。

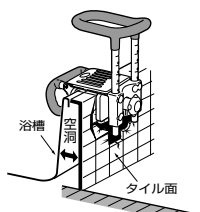
ここをご確認ください。



⚠
注意

浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りで、内部
が空洞になっている浴槽には取り付けないこと

浴槽壁へのはさみ込み強度が
得られず、タイルが破損した
り側壁が陥没し、手すりが浴
槽から外れ、転倒やけがの原
因になります。



浴槽外側の天面及び側面がタイル貼りの場合、タイル面を軽くたたいて、内部が空洞か確認してください。空洞の
場合は壁強度が確保できず、タイルや側壁が破損し、浴槽手すりが外れる恐れがあるので取り付けないでください。
なお判断がつかない場合は、浴室施工業者又はお買い上げの販売店にご確認ください。

取り付けの前に

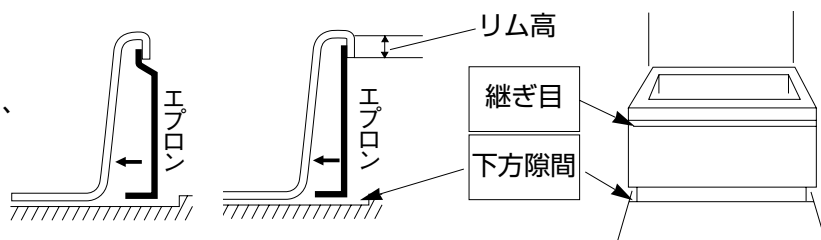
④浴槽外側の前面エプロンが取り外し可能な浴槽には「浴槽手すりUST-165W」を取り付けることができません。

ここをご確認ください。

取り付けできない浴槽は、以下のすべての項目が該当する「前面着脱式1方全エプロン」浴槽です。

- ①据置式浴槽（浴槽が床面におかれており、浴槽の前面がすべて見える浴槽）である。
- ②上縁部に継ぎ目がある。
- ③洗い場側下方に手の入る隙間がある。
- ④取り外しのできるエプロンが前面1枚だけである。
- ⑤リム高さが10cm以下である。

なお判断が付きにくい場合は、
現在お使いの浴槽製造メーカーまで、
「前面着脱式1方全エプロン」
であるかをお問い合わせください。

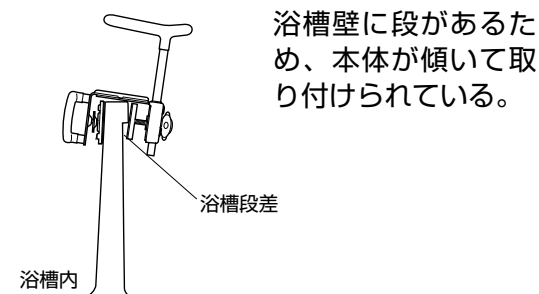


- 前面エプロンが着脱可能な浴槽は、設備メーカーが水漏れ等による万が一の場合に、点検用として取り外しが可能な仕様となっています。この仕様の浴槽のうち、1方全エプロンと呼ばれるものに手すりを取り付けた場合、繰り返しの使用によっては、エプロンが外れ、転倒やけがの原因になりますので、取り付けはできません。

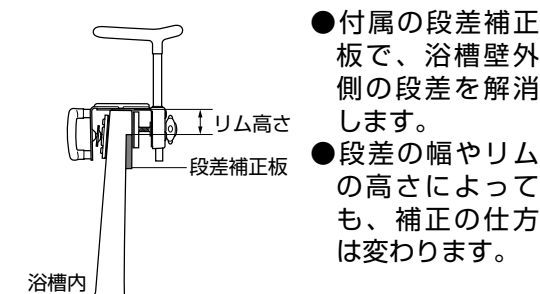
次の確認を行ってください。

①浴槽の外側に段がついている場合は、段差補正を行ってから手すりを取り付けてください。

【良くない取り付け方】



【正しい取り付け方】



- 付属の段差補正板で、浴槽壁外側の段差を解消します。
- 段差の幅やリムの高さによっても、補正の仕方は変わります。

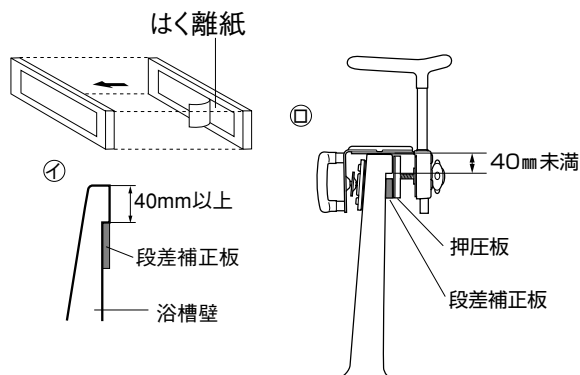
取り付けの際は次のページの段差補正板取り付け方法をよくお読みください。

取り付けの前に

段差補正板 取り付け方法

段差15mm以下の場合

- 1 段差に合わせて段差補正板を用意します。2、3枚使用の場合には、最初に両面テープのはく離紙をはがし、重ね貼りをしておきます。
- 2 ①リム高さ40mm以上の場合
リム下端に接する位置へ段差補正板を貼り付けます。
②リム高さ40mm未満の場合
本体の押圧板下端に合わせた位置に、段差補正板を貼り付けます。



段差16mm以上の場合

別途、段に合わせて厚みの木板または硬いゴムをあてがってから取り付けてください。

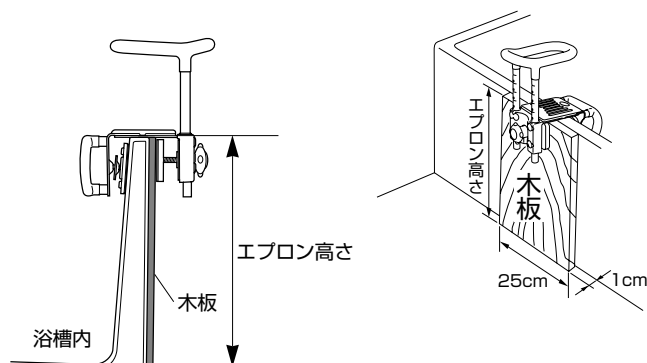


使用前に浴槽壁から段差補正板がとれていないか確認すること

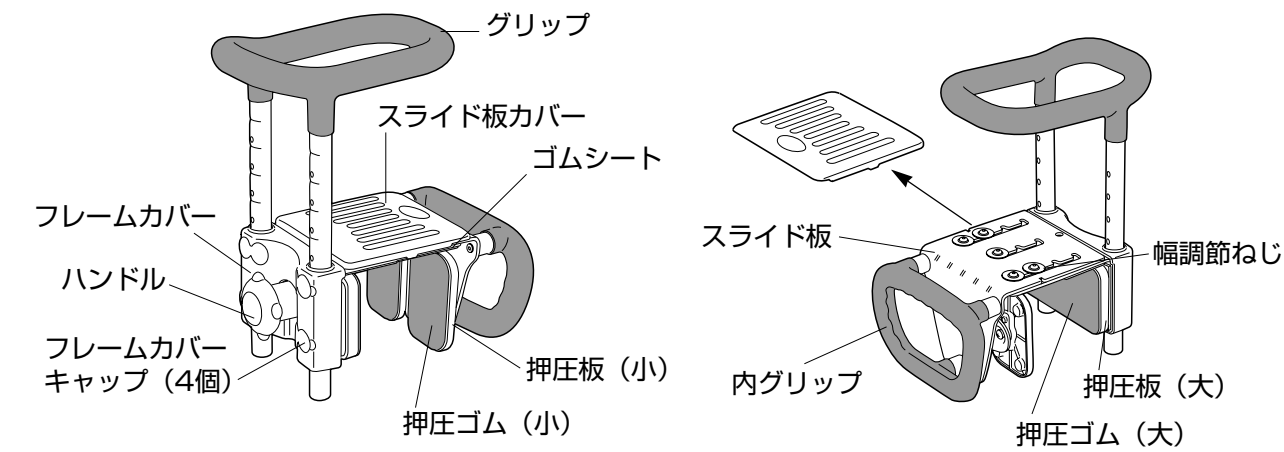
万一段差補正板がとれた場合、浴槽壁に残った（のり）をきれいに取り除き、市販の強力タイプ両面テープで段差補正板を貼り直してからご使用ください。
段差補正板を貼り付けたら取り外さないこと

②浴槽内外の壁が一体であるが、外壁の強度が弱く正しくセットできない場合

浴槽手すりを取り付け、ハンドルを締めていくと、浴槽がへこんでしまうような浴槽の場合は壁の補強として、幅25×厚さ1cmで、エプロン高さに合わせた長さの木板を、浴槽壁の外側にあてがってから取り付けてください。



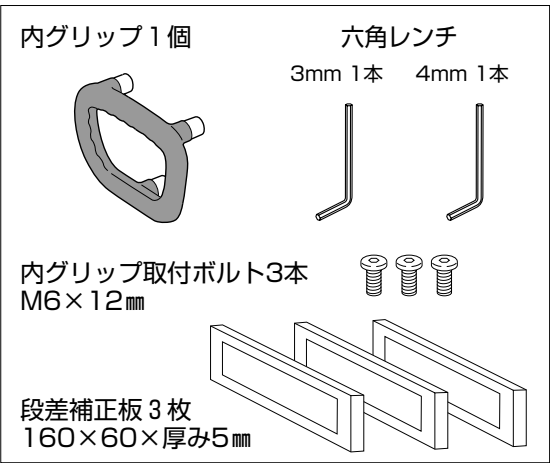
各部のなまえ



仕様

品名	高さ調節付浴槽手すり UST-165W	
部位	部品名	材質
本体	フレーム	ステンレス
	フレームカバー	ポリプロピレン
	フレームカバーキャップ	エラストマー
	ハンドル	ポリプロピレン
	スライド板	ステンレス
	スライド板カバー	ポリエチレン
	締付けねじ ねじスリーブ	黄銅 (クロムメッキ)
グリップ	グリップ	ステンレス・エラストマー被覆
	内グリップ	ポリプロピレン・エラストマー被覆
挟み込み部	押圧板 (大・小)	ポリプロピレン
	押圧ゴム (大・小)	エラストマー
ほか	押圧ゴム以外のゴムシート	エチレンプロピレンゴム
	段差補正板	ポリエチレン
サイズ	20.5×31.5～37.5×高さ37～39cm グリップ高さ (浴槽上縁から) 11・14・17・20・23・26cm	
重量	約4.6kg	

付属品



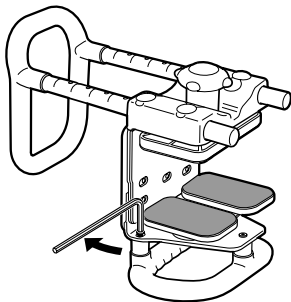
特長

- 取り付けたまま風呂フタができます。
- 洗い場側でも使用でき、あらゆる角度からつかめて浴槽に安心して入れるループ形状のグリップ。
- 身長に合わせて幅広く選べるグリップ高さ。(浴槽から11・14・17・20・23・26cm)
- 卵型 (断面形状) の持ちやすいグリップ形状。
- グリップはソフトなタッチで滑りにくく、冷たさを感じさせない素材を使用。
- グリップカラーには、湯気の中でも見やすい赤色を採用。
- 幅調節は、上からネジを緩めるだけで調節可能。
- 締めつけやすい形状のハンドル。
- 浴槽壁に接する部分には滑り止めと、浴槽保護のためゴムシートを使用。
- 押圧板は浴槽面に合わせて動く首フリタイプ。
- 浴槽内で身体を安定させたり、引き起こしたりするのに便利な円形状の内グリップ付き。
- コーナーへ寄せて使える2枚押圧板仕様。
- 内グリップを外せば浴槽内すっきり。

組み立て

内グリップの取り付け

必要に応じて、内グリップを取り付けてください。
3本のグリップ取付ボルトを付属の六角レンチ（3mm）で最後まで強く締め込んでください。

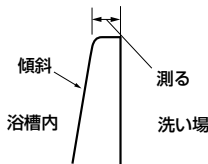


取り付けかた

浴槽に水を入れる前に以下の手順で行ってください。

取り付け

- 1 取り付け可能な浴槽の壁厚は8～16.5cm（浴槽内側に傾斜があるときは16cm）です。
- 2 取り付け面に洗剤・湯あか等が付着していると滑りやすいので、乾いた布などで十分に拭き取ってください。
- 3 浴槽壁の厚みを測ってください。浴槽内壁に傾斜があるときは測った数値に+0.5cmした値を、浴槽壁の厚みと見なしてください。

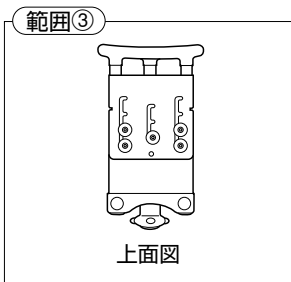
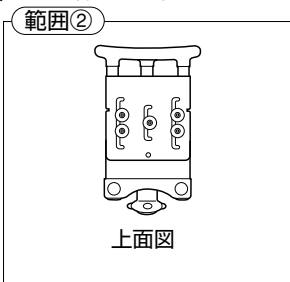
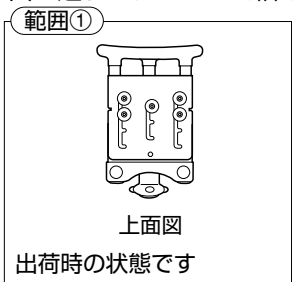


(例) 10.5cmの場合
— 傾斜があるとき — $10.5 + 0.5 = 11\text{cm}$
— 傾斜がないとき — 10.5cm
↓ ↓
11cmは範囲② 10.5cmは範囲①

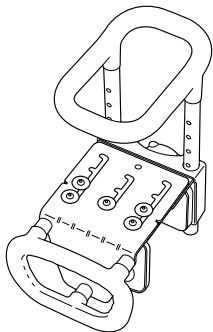
- 4 ①～③の適合する範囲を確認してください。

範囲①	8～10.5cm	範囲②	10.6～13.5cm	範囲③	13.6～16.5cm
-----	----------	-----	-------------	-----	-------------

- 5 スライド板カバーを外してください。
- 6 下図の通りに、フレーム幅を調節してください。



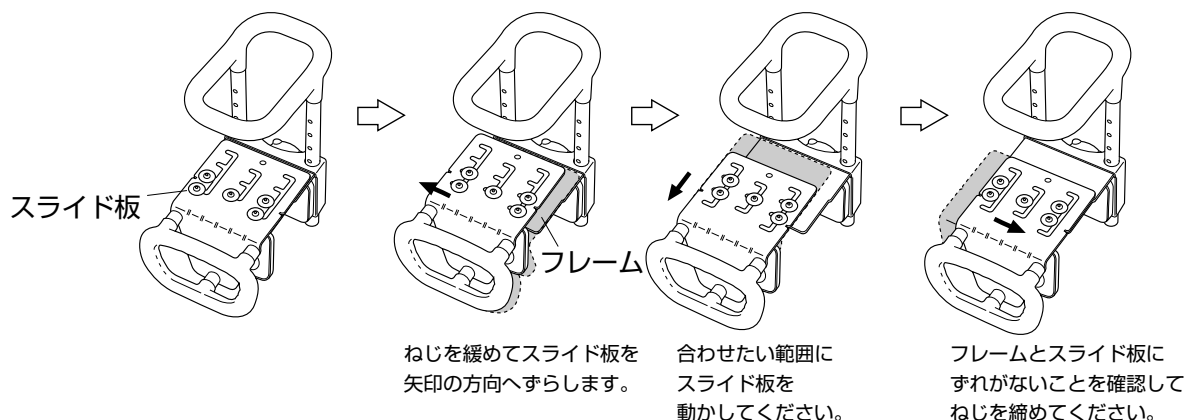
(1) 付属の六角レンチ（4mm）で5本のネジを緩めます。（出荷時は範囲①の状態です。）



範囲①の場合	ネジの締めつけを確認ください
範囲②の場合	ネジを緩めて1段広くします
範囲③の場合	ネジを緩めて2段広くします

取り付けかた

(2) フレームを下図のようにスライドさせ、しっかりとネジを締めつけます。(図は範囲②の場合を示します)



注意

- (2) のとき、フレームとスライド板にずれがないことを確認してからねじを締めつけること
使用中に手すりや浴槽から外れ、けがの原因になります。
- ねじが確実に締まったか確認すること
使用中にねじが外れ、破損やけがの原因になります。

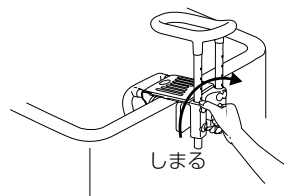
7 内グリップが浴槽の内側に向くように取り付けます。

8 浴槽壁に図のようにセットし、ハンドルを右に回してガタツキやずれが無いように取り付けます。



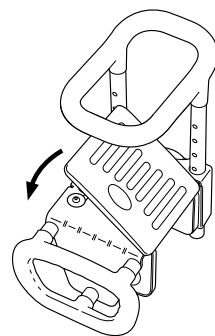
注意

毎回ご使用の前に、グリップを前後左右にゆらしてみ、ガタツキやずれが無く浴槽にしっかり固定されているか確認すること
使用中に手すりや浴槽から外れ、転倒しけがの原因になります。



9 スライド板カバーをスライド板に押し当てて固定してください。

※スライド板カバーの向きが逆になっていると、カバーがきちんとはまりません。



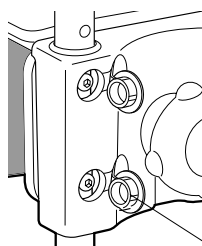
正しくセットされていることの確認

- 浴槽壁が弱く変形していないか。変形している場合は、木板にて壁を補強してください。
- 傾いて取り付けられていないか。
- フレームが浴槽の上縁より浮き上がっていないか。
- 締めつけが弱くガタツキはないか。

使いかた（浴槽にのみご使用ください）

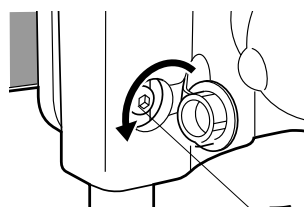
グリップの高さ調節

- 1** フレームカバーキャップを外してください。
（4ヶ所）



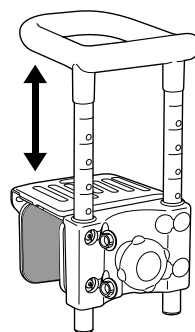
フレームカバーキャップ

- 2** 付属の六角レンチ（4mm）で手すり固定ねじを外してください。（4ヶ所）

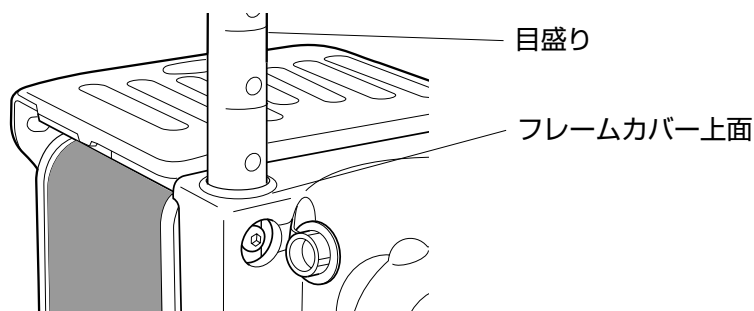


手すり固定ねじ

- 3** グリップをスライドさせてお好みの高さに設定してください。



- 4** 手すり本体にある目盛りとフレームカバーの上面を合わせながら手すり固定ねじを締めてください。
（4ヶ所）



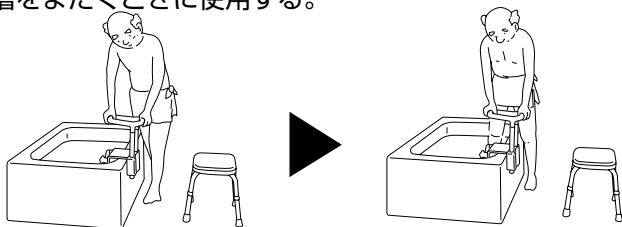
- 5** 最後にフレームカバーキャップを元通りにはめて完了です。



4ヶ所のねじが確実に締まったか確認すること
使用中にねじが外れ、破損やけがの原因になります。

使いかた

1 浴槽をまたぐときに使用する。



両手でグリップをしっかりと持って、片足ずつゆっくりと移動してください。

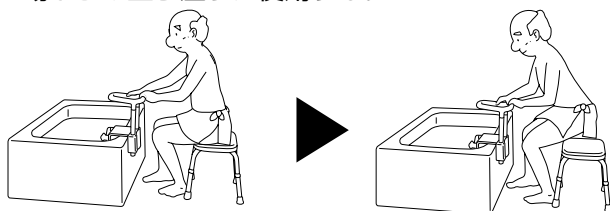
2 浴槽内からの立ち座りに使用する。



内グリップやグリップを持って、身体を支えながら立ち座りを行ってください。

※浴槽台を併用すると、より安心して立ち座りできます。

3 洗い場からの立ち座りに使用する。



グリップを持って、身体を支えながら立ち座りを行ってください。

※シャワーベンチを併用すると、より安心して立ち座りできます。



注意

- 体重が80kgを超える方は使用しないこと
使用中に手すりが外れたり、破損しけがの原因になります。
- 浴槽手すりは浴槽縁のまたぎ動作、浴槽台・シャワーベンチ等からの立ち座り動作を補助する簡易取り付け手すりです。反動をつけて使用したり、全体重が手すりにかかるような使い方はしないこと
使用中に手すりが外れ、転倒しけがの原因になります。
- 石鹸や洗剤が付着した手で使用しないこと
手が滑り、けがの原因になります。
- 浴槽へ取り付けた手すりの上に物を乗せたり、物をぶら下げたりしないこと
手すりの上の物が引っ掛かり、けがの原因になります。
- スライド板カバーの上に、石鹸など物を乗せないこと
手すりが石鹸で滑って外れ、けがの原因になります。

お手入れの方法

- 中性洗剤のうすめ液をスポンジかやわらかい布にふくませ、汚れを取ったあと、きれいな水で洗剤を洗い流し、かげ干しか、乾いた布で空ぶきしてください。



注意

- 必ず中性洗剤を使用すること
- タワシや磨き粉、研磨剤入りのスポンジ等は使用しないこと
- 塩素系洗剤、酸・アルカリ性洗剤、シンナー、クレゾール等は絶対に使用しないこと
劣化または破損し、けがの原因になります。

